

わが職場

「行きたい病院」、
「働きたい病院」
を目指して

当院は一九五七年（昭和三二年）四月、坂出市室町で診療を開始しました。開設当初は二二床の病院（内科、外科、産婦人科）でしたが、現在は四〇二床の総合病院として中讃地域の中核的急性期医療を担っております。常勤職員も六〇〇名を超え医師や看護師を始め、多くの国家資格をもった専門職種がチーム医療の基、患者の治療に携わっております。開設時は個人病院でしたが、一九七六年（昭和五一年）七月に医療法人となり、その後二〇〇八年（平成二〇年）一〇月から公的医療機関である「社会医療法人」の認定を全国五番目に受け、救急医療や災害医療に二四時間三六五日取組んでおります。二〇〇五年（平成一七年）から着工した新病院建設は、二〇〇七年（平成一九年）六月に入院棟が竣工し、引き続き外来棟の二期工事が二〇〇八年（平成二〇年）一月竣工しました。二〇〇

九年（平成二一年）一〇月には三期工事として総合健診施設が完成し、予防から治療に至るハード面のシテムが出来上がりました。

患者に安心して治療を受けてもらうため、職種横断の委員会を設置しております。とりわけ「医療安全対策」と「感染防止対策」については、病院長や看護部長、事務部長、専従の看護師及び専任の医師や薬剤師等のコメディカル職種からなる委員会を置き、毎月の委員会を開催して部署からの報告を基に原因や対策を話し合い、部署巡回やカンファレンスへの参加、年2回の全職員を対象とした研修会開催などを通じた質の高い医療提供体制を心掛けております。又、糖尿病対策や子宮頸がん予防、成人病予防対策などの市民公開講座を当院二階ホールで随時開催しておりますので、これらの内容は、ホームページや毎月発行の広報誌をご覧くださいれば幸いです。

職員の健康管理・保持対策として、定期健康診断の完全実施や二次健診及び治療の必要な職員の窓口として健康管理室を置き、大切な人財を支援する取組を行っております。メンタルヘルス対策では、プライベートに配慮して精神科医師や臨

床心理士と協力してサポートしています。

当院は、地域の事業所（一〇社）と契約し産業医を派遣しております。企業の安全衛生会議への参加や巡回を通じて、職場の環境改善や従業員の健康管理保持の役割を担っております。又、臨床心理士が「こころの健康相談（ウイズ）」（要予約）を受付けておりますのでお気軽にご相談ください。

最近では事業所内の保育施設整備が充実してきておりますが、当院も従来は看護職員の離職防止・定着対策として運営してきました。定員に限りがありますが、全ての職種職員の乳幼児（小学校入学前まで）を対象に保育士八名で対応しております。又、坂出市の委託を受けて坂出市及び周辺市町に在住の働く女性の乳幼児を対象に「病児・病後児保育」を平成二二年度から開始しております。詳しくは当院保育所又は坂出市にお尋ねください。

今後も患者が「行きたい病院」、職員が「働きたい病院」を目指してまいります。

社会医療法人財団 大樹会
総合病院 回生病院

事務部長 大平 義富